

自助・・・自らの命は自ら守る！

6月26日には土砂災害を想定した訓練が金山地域で実施され、9月4日には下呂市総合防災訓練が小坂地域をメイン会場に実施されます。

各自治会・自主防災組織でも、様々な防災訓練が計画されます。以前は、消火栓や消火器の使い方といった訓練が主でした。最近では、DIG 訓練が盛んに行われるようになってきました。DIG 訓練とは、災害（Disaster）のD、想像力（Imagination）のI、ゲーム（Game）のGの頭文字を取って名付けられた、誰でも行うことができ、誰もが参加できる簡易な災害図上訓練です。



DIG では参加者は大きな地図を囲み、全員が書き込みを加えながら、ワイワイと楽しく議論をしていきます。

初級編（基本的なマップ作り）から中級編（想定される被害を理解する）、応急編（対応策を考える）とありますが、まずは自分たちの住んでいる地域を知ることから始めましょう。どこにどんな危険が潜んでいるのかなど、地図に書き込んでいくことで、起こりうる災害をイメージすることができるようになります。

岐阜県「[災害図上訓練 DIG 指導者の手引き](#)」から

様々な年代の方が一緒になって地域のことを考えることで、昔は池や沼があって今は埋め立てられている所、かつて大雨で谷があふれた所、崩れた所など、今ではわからないことを知ることができます。

また、こうした話し合いをすることで、地域を知るとともに「人を知る」ことにもつながります。



DIG 訓練の際は、各家庭に配布してあるハザードマップも活用ください。ハザードマップには土砂災害警戒区域（イエローゾーン）や避難ルートが示してありますが、災害の恐れがある場合には、条件によって別のルートを通ることも想定されます。

図上訓練をすることで、あらかじめ危険を回避する手段を考える良い機会となります。

★[下呂市ハザードマップ](#)

次回は、気象警報についてお知らせいたします。